

# 地域支援だより

県立南薩養護学校  
校外支援係  
No. 11  
令和4年2月28日  
(文責 中菌)

## 少数派の子どもを元気にする言葉掛け

何らかの支援の必要な子どもたちは、ほめられることで自分への自信が高まり、それが前に進むエネルギーになります。

○ 12月にWeb開催された県子ども総合療育センター主催の地域発達障害対応力向上研修会の講師「加藤潔」先生の著書「発達が気になる子のステキを伸ばすことばがけ」からほめ方のポイントとして、紹介します。

### 1 ぼんやりとそこそこほめる。

「頑張ったね一番だ。」「すごいね、100点だ」など伝えることがあります。大きなほめ効果が上がることが期待できる反面、リスクも生じます。1番や100点にこだわってしまうリスクです。白か黒かで考えてしまいがちタイプにとっては危険ワードです。



あえてぼんやりとしたほめの方が得策の場合があります。「けっこうすごいね。」「なかなかがんばったね。」「まずまずいいところにいってるよ。」など。また、「しぶい。」「粋だね。」など風情のある言葉をつかうのもぼんやり感を醸し出します。英語を活用するのもいいです。「ナイスですね。」「グッジョブです。」「エクセレント。」など日本語にない適度なぼんやり感があります。

「けっこうすごいね」



### 2 あたりまえのことを何度もほめる。

「ほめようと思っているのに気づいたらほめることなく一日がおわってしまう。」「一生懸命ほめているつもりだけど、あまりいい反応が返ってきません。」などの悩みはありませんか。



あたりまえのことをほめましょう。同じことを何度もほめましょう。「よく学校に来たねえ。」「座っていてすごいねえ。」などあたりまえのことをただ伝えればOKです。特に感情を込めなくても大丈夫です。次の日も、その次の日も繰り返しましょう。そして、それを複数の人が同じことをほめると効果は倍増します。伝えられているお子さんも「自分ってそこがいいところなんだ。」と思うようになってきます。自分のことは見えないので、自分のよさも見えていません。だから、周りから注入していく必要があるのです。

また、「相手の反応を期待しない。」ことも大切です。ほめるのがうまくない人って相手のリアクションを待ってしまうのです。ほめ言葉は一方通行でいいのです。ほめるって分かってもらうものではなく、こちらが伝えたいから伝えるものだと思います。そのくらいでいいかなと思っている方がなぜか相手に伝わっていきます。

「ごはん食べてえらいねえ」



\*裏面もあります。

### 3 ほめ逃げをする。

「みんな、〇〇くんがこんないいことをしました。拍手！」でも、当の本人はわれ関せず…。あるいは、「うるせーな。」の返答…。ほめているのにこんな反応だと、心が折れそうになりますね。



「ほめ言葉はみんなの前で」という格言？がありますが、少数派の子どもたちには（一対一でほめる）ことが格言になるべきです。一対一でこっそりほめられる方が、他者の前でどう振る舞えばよいかという余計なことを考える必要がありません。反応が上手じゃないのであれば、反応をさせなければいいのです。つまり（ほめ逃げする。）ということ。去り際にほめていなくなることで、ほめられた印象をくっきり残すことができます。

去り際にほめて  
いなくなる



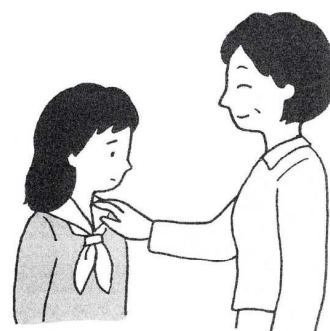
### 4 記録に残す（可視化する）。

「どうせ私はダメな人間ですから。」「ほめられても、うそだと分かっているので、うれしくありません。」等々、落ち込みのループにはまっていく人たちがいます。



ある人とのやりとりです。  
教師 「自分のいいところをひとつあげるとしたら、どんなことですか？」  
Aさん 「いいところなんてひとつもありませんよ。」  
教師 「なるほど、まちがいなく謙虚ですね。」  
Aさん 「…。」  
それ以上は突っ込みません。これを可視化するとこうなります。

「まちがいなく  
謙虚ですね」



〇〇さんへ  
あなたはよく言う。  
「わたしにはとりえがない。」「わたしは誰も幸せにしていない。」  
ぼくはよく言う。  
「とりえがないと言えるのがとりえです。」  
「幸せにしなくていいです。不幸にしなればいいいのです。」  
あなたは、けっこういいやつです。これはまぎれもない事実です。」

さらっとほめた後で、メールや手紙を活用して同じことを伝えると印象度が上がります。記録に残す（可視化する）という作戦です。

参考文献「発達が気になる子のステキを伸ばすことばがけ」（明石書店 加藤 潔 2017）

